

地域部活動の新しい形の創出

～「学校部活動」を新たな「地域コミュニティ活動」へ～

一般社団法人未来地図 代表理事
前長野県飯田市 教育長

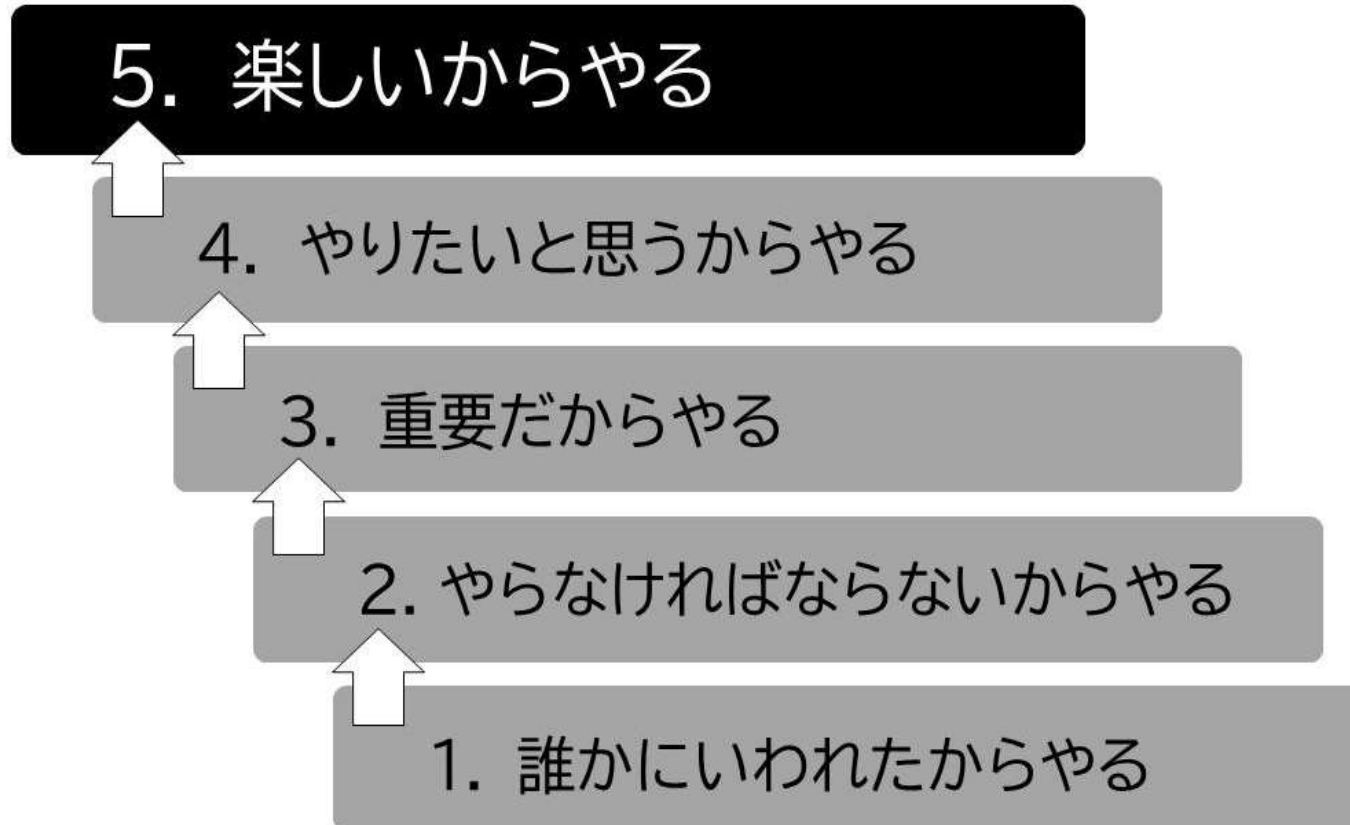
代田 昭久

shirota@miraichizu.jp

部活動の改善点

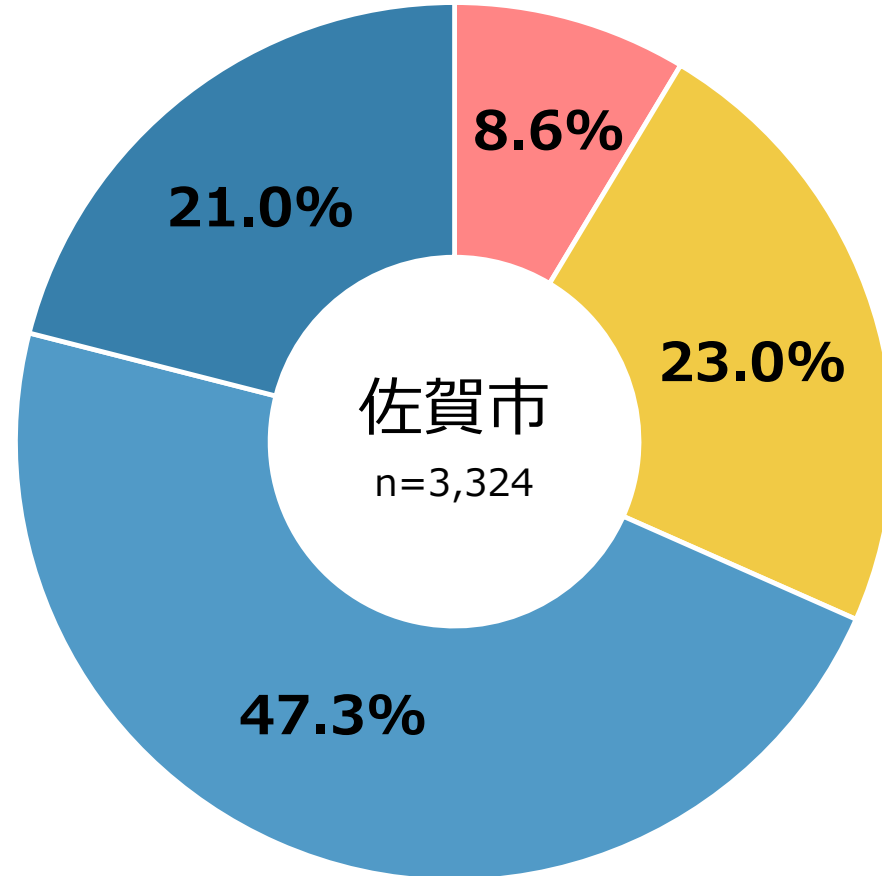
自分の最高を引き出す／主体性・内発性 オートテリック・パーソナリティ

自己決定能力の5段階



佐賀県佐賀市の実践（1）

Q：現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか？



ほとんど全部、自分たちで決めている
8.6% (n=287)

半分程度は、自分たちで決めている
23.0% (n=766)

一部は自分たちで決めている
47.3% (n=1,572)

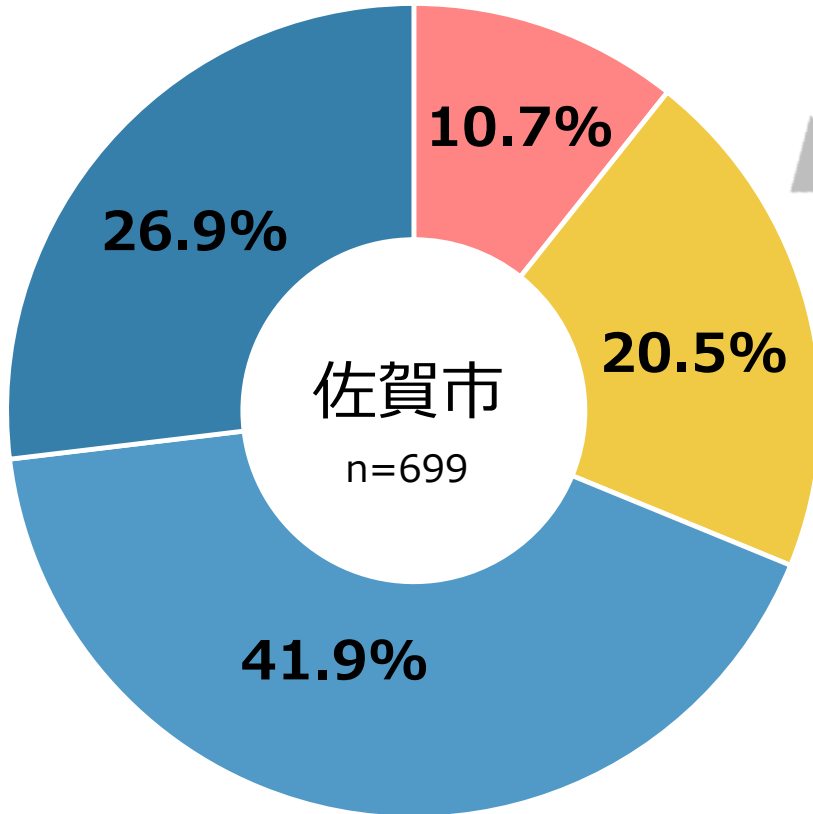
全く自分たちで決めていない
21.0% (n=699)

- ほとんど全部、自分たちで決めている
- 半分程度は、自分たちで決めている
- 一部は、自分たちで決めている
- 全く、自分たちで決めていない

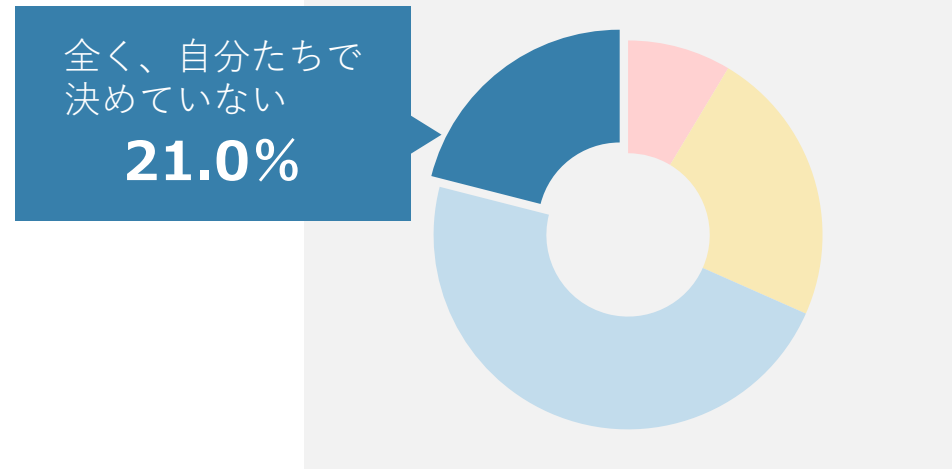
佐賀県佐賀市の実践（2）

Q. 練習時間や内容、試合のメンバーなど、部活動において自分たち（生徒同士）で決めたいと思いますか？

Q. 現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか？



- ほとんど全部、自分たちで決めたい
- 半分程度は、自分たちで決めたい
- 一部は、自分たちで決めたい
- 全く、自分たちで決めたくない



部活動の現状について

自分たちで全く決めていない子ども
699人（全体データの21.0%）のうち

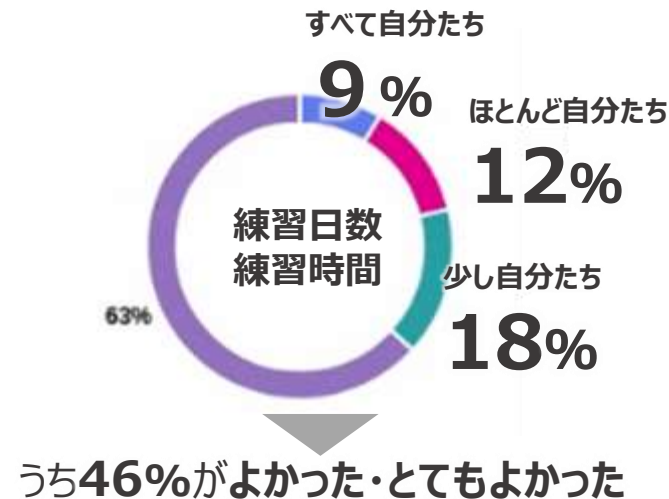
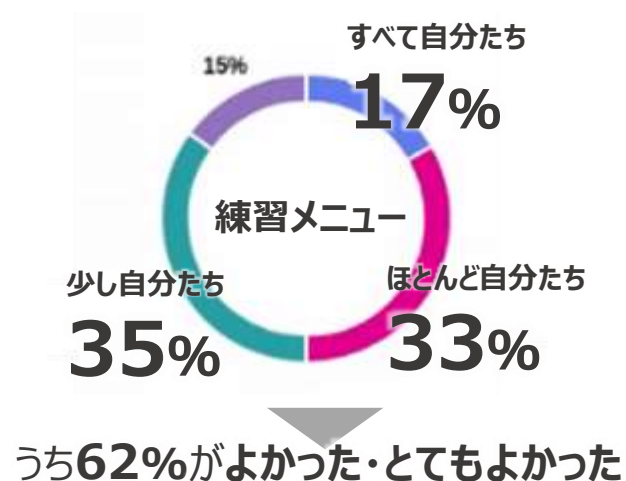
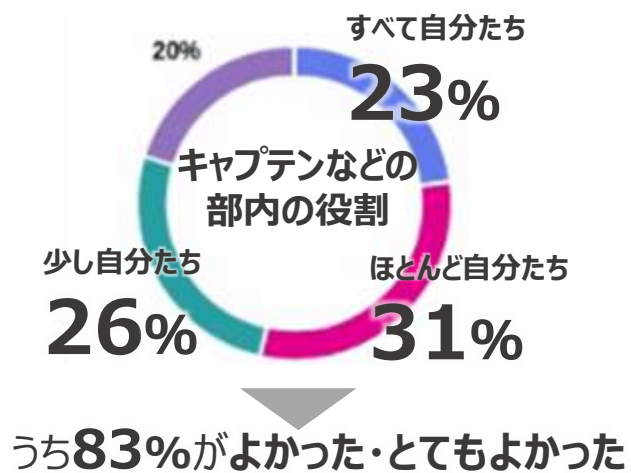
**70%以上の子どもたちが
より主体的に取り組みたいと考えている**

方向性 1 佐賀モデル (佐賀市部活動適正化モデル)

アンケート結果③ (R7.3/10時点)

活動の質に対する評価

生徒 n=114 (注) () は2週間のみ試行した学校を除く数字



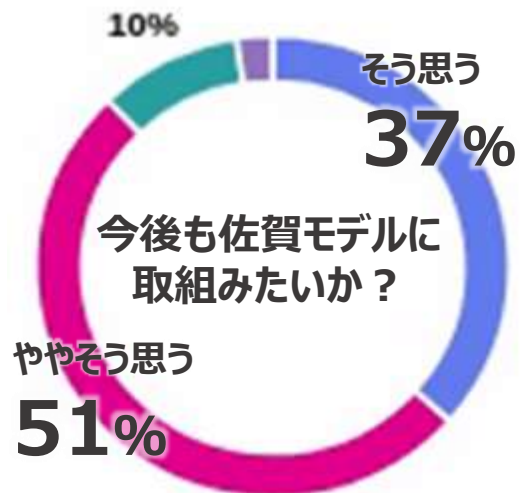
方向性 1 佐賀モデル (佐賀市部活動適正化モデル)

アンケート結果③ (R7.3/10時点)

活動の質に対する評価

生徒 n=114 (注) () は2週間のみ試行した学校を除く数字

なぜ、取り組みたくないのか？



【1】 国の動向について

スポーツ庁／令和6年12月

「部活動改革に関する実行会議」中間とりまとめ 概要

「**地域移行**」という名称は、「**地域展開**」に変更

【コンセプト】

- ① 学校内で運営されてきた活動を、**地域全体で支えて**いく。
- ② **新たな価値を創出**し、より豊かで幅広い活動を可能とする。

【2】部活動の地域「展開」を進めるために/今後の進め方

×スライド移行

アップデート移行

学 校

部活動

対象：中学生
期間：3年間



**新たなコンテンツ
文化芸術活動**

地 域

社会教育活動

対象：幼児
小・高校生～高齢者
期間：生涯



新たな参加者

**期間を問わない
(止めてもいい)**

エンジョイ志向

**多種多様な体験活動
(マルチ・アクティビティ)**